



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 熊谷組

コード番号 1861 URL <http://www.kumagaigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 大田 弘

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部主計部長

(氏名) 山本 祐一

TEL 03-3235-8606

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	完成工事高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	174,205	△6.5	2,357	△14.1	1,557	△22.3	1,174	△47.7
22年3月期第3四半期	186,314	△1.1	2,745	49.5	2,003	—	2,247	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	6.58	3.14
22年3月期第3四半期	12.59	7.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	181,895	45,164	24.1	135.60
22年3月期	190,105	44,310	22.6	130.55

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 43,804百万円 22年3月期 42,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	0.00	0.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	完成工事高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	△6.2	3,700	△25.9	2,900	△31.0	1,700	△30.5	9.52

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 181,544,607株 22年3月期 181,544,607株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 3,051,286株 22年3月期 2,963,265株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 178,551,179株 22年3月期3Q 178,585,081株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(参考) 個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の個別業績 (平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	完成工事高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	136,727	△ 8.9	2,239	47.2	1,528	51.5	1,365	△ 22.1
22年3月期第3四半期	150,074	△ 4.3	1,521	△ 14.9	1,008	—	1,753	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	7.60	3.63
22年3月期第3四半期	9.76	5.65

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	145,991	25,166	17.2	30.98
22年3月期	149,832	23,978	16.0	24.37

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 25,166百万円 22年3月期 23,978百万円

2. 平成23年3月期の個別業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	完成工事高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	194,000	△ 8.0	2,800	△ 11.2	2,000	△ 16.2	1,300	34.2	7.24

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 四半期財務諸表	9
(1) 四半期貸借対照表	9
(2) 四半期損益計算書	11
5. 四半期個別受注の概況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益は増勢を維持し、個人消費も底固く推移しましたが、輸出や生産は弱含みとなり、失業率も依然として高水準にあるなど、景気は足踏み状態を続けております。

建設業界におきましては、設備投資及び住宅投資に一部持ち直しの動きが見られたものの、公共投資は予算削減の影響から減少を続けており、事業環境は総じて厳しいものとなりました。

このような状況にあつて当社グループは、建設市場の変化を先取りし、お客様に新たな付加価値を提供し続けるべく、平成22年5月に「中期経営計画（平成22～24年度）」を策定いたしました。「誠実な営業」「誠実な施工」「誠実なフォロー」という不変の基本姿勢のもと、全社を挙げて本計画の達成に取り組んでおります。

当社グループの当第3四半期の業績は、売上高（完成工事高）は、前年同四半期に比べ121億円（6.5%）減の1,742億円となりました。利益につきましては、営業利益は、販売費及び一般管理費を削減したものの、売上高の減少及び売上総利益率の低下により、前年同四半期に比べ3億円（14.1%）減の23億円となり、経常利益においても、前年同四半期に比べ4億円（22.3%）減の15億円となりました。四半期純利益は、特別利益3億円、特別損失3億円、法人税等3億円を計上し、前年同四半期に比べ10億円（47.7%）減の11億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、現金預金、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前期末に比べ82億円（4.3%）減少し、1,818億円となりました。

負債合計は、支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ90億円（6.2%）減少し、1,367億円となりました。なお、これら資産・負債の増減は、建設事業において工事の完成引渡しが年度末に集中する傾向にあることを要因としております。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前期末に比べ8億円（1.9%）増加し、451億円となりました。なお、自己資本比率は、前期末の22.6%から1.5ポイント向上し、24.1%となっております。

連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、季節的要因により工事資金の立替が増加したこと等により、97億円のマイナス（前年同四半期は152億円のマイナス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、2千万円のマイナス（前年同四半期は1億円のプラス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、約定による借入金の返済は進みましたが、新たな借入れを行ったため、28億円のプラス（前年同四半期は48億円のプラス）となりました。

なお、これらにより、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は前期末に比べ71億円（22.5%）減少し、247億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、世界経済の改善や各種経済政策の効果を背景に、緩やかに回復へ向かうと見込まれますが、デフレや円高の進行、雇用情勢の一層の悪化懸念など、景気下押しリスクが多分に存在しており、予断を許さない状況が続いております。建設業界におきましては、設備投資及び住宅投資が徐々に持ち直していくとみられますが、公共投資は依然として減少傾向にあります。当社グループとしては、さらなる経営の効率化を推し進め、収益力の向上と市場競争力の強化を図ってまいります。

このような状況及び当第3四半期の実績等を勘案した結果、現時点において平成22年5月14日に公表した通期の連結業績予想を変更しておりません。

なお、個別業績予想についても変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法において、一般債権の貸倒実績率が前連結会計年度の連結財務諸表の作成において使用した貸倒実績率と著しく変動していないと考えられるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率を使用して算定しております。

・繰延税金資産の回収可能性の判断において、業績の著しい好転又は悪化、その他経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測を利用しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

記載すべき事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	24,721	31,885
受取手形・完成工事未収入金等	96,974	98,546
未成工事支出金	7,006	5,973
繰延税金資産	1,969	2,175
その他	12,359	10,069
貸倒引当金	△2,517	△2,420
流動資産合計	140,513	146,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,633	2,741
土地	10,234	10,234
その他（純額）	1,062	1,031
有形固定資産計	13,930	14,007
無形固定資産	349	479
投資その他の資産		
投資有価証券	12,170	12,605
繰延税金資産	9,692	9,502
その他	11,870	14,600
貸倒引当金	△6,630	△7,318
投資その他の資産計	27,102	29,389
固定資産合計	41,382	43,876
資産合計	181,895	190,105

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	61,478	73,043
短期借入金	25,815	23,253
未成工事受入金	5,916	5,484
完成工事補償引当金	393	364
工事損失引当金	456	828
賞与引当金	394	1,206
その他	16,360	16,848
流動負債合計	110,814	121,029
固定負債		
長期借入金	6,779	6,482
退職給付引当金	19,066	18,222
その他	71	61
固定負債合計	25,917	24,765
負債合計	136,731	145,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,341	13,341
資本剰余金	7,881	7,882
利益剰余金	22,816	21,641
自己株式	△522	△518
株主資本合計	43,516	42,346
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	579	771
為替換算調整勘定	△291	△205
評価・換算差額等合計	287	566
少数株主持分	1,360	1,397
純資産合計	45,164	44,310
負債純資産合計	181,895	190,105

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
完成工事高	186,314	174,205
完成工事原価	173,854	162,974
完成工事総利益	12,460	11,231
販売費及び一般管理費	9,714	8,874
営業利益	2,745	2,357
営業外収益		
受取利息	110	59
受取配当金	141	63
その他	86	67
営業外収益合計	338	189
営業外費用		
支払利息	702	627
為替差損	14	155
その他	363	206
営業外費用合計	1,080	989
経常利益	2,003	1,557
特別利益		
前期損益修正益	1,419	206
その他	183	136
特別利益合計	1,602	343
特別損失		
前期損益修正損	397	248
貸倒引当金繰入額	104	—
その他	202	131
特別損失合計	704	380
税金等調整前四半期純利益	2,901	1,520
法人税、住民税及び事業税	230	183
法人税等調整額	375	192
法人税等合計	606	376
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,144
少数株主利益又は少数株主損失(△)	47	△30
四半期純利益	2,247	1,174

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,901	1,520
減価償却費	821	809
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,636	△565
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	530	844
受取利息及び受取配当金	△251	△122
支払利息	702	627
為替差損益 (△は益)	50	149
持分法による投資損益 (△は益)	170	41
売上債権の増減額 (△は増加)	1,304	1,518
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△3,009	△1,032
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,843	△11,466
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△3,051	435
その他	1,672	△1,717
小計	△14,636	△8,957
利息及び配当金の受取額	255	130
利息の支払額	△676	△602
法人税等の支払額	△211	△291
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15,268	△9,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△356	△507
有形固定資産の売却による収入	20	6
投資有価証券の取得による支出	△253	△13
投資有価証券の売却による収入	89	6
貸付けによる支出	△298	△231
貸付金の回収による収入	313	224
その他	590	492
投資活動によるキャッシュ・フロー	104	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,824	3,543
長期借入れによる収入	463	2,111
長期借入金の返済による支出	△2,431	△2,795
その他	△10	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,844	2,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△260
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,335	△7,164
現金及び現金同等物の期首残高	35,372	31,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,036	24,705

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	13,726	21,996
受取手形・完成工事未収入金等	82,019	79,553
未成工事支出金	5,576	4,142
繰延税金資産	1,693	1,593
その他	12,755	9,803
貸倒引当金	△ 2,470	△ 2,350
流動資産合計	113,301	114,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,459	1,560
土地	7,578	7,578
その他（純額）	210	241
有形固定資産計	9,247	9,379
無形固定資産	188	229
投資その他の資産		
投資有価証券	7,258	7,552
繰延税金資産	7,083	6,994
その他	14,207	16,720
貸倒引当金	△ 5,295	△ 5,783
投資その他の資産計	23,253	25,484
固定資産合計	32,689	35,093
資産合計	145,991	149,832

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	50,479	58,893
短期借入金	25,553	23,053
リース債務	9	4
未成工事受入金	5,335	4,434
完成工事補償引当金	346	324
工事損失引当金	389	636
賞与引当金	162	339
その他	15,204	15,659
流動負債合計	97,480	103,346
固定負債		
長期借入金	6,556	6,482
リース債務	18	9
退職給付引当金	16,750	15,996
その他	18	18
固定負債合計	23,344	22,507
負債合計	120,824	125,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,341	13,341
資本剰余金	7,881	7,882
利益剰余金	3,862	2,497
自己株式	△ 407	△ 406
株主資本合計	24,678	23,314
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	488	664
評価・換算差額等合計	488	664
純資産合計	25,166	23,978
負債純資産合計	145,991	149,832

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
完成工事高	150,074	136,727
完成工事原価	141,187	127,939
完成工事総利益	8,887	8,788
販売費及び一般管理費	7,366	6,548
営業利益	1,521	2,239
営業外収益		
受取利息	120	67
受取配当金	173	71
その他	91	68
営業外収益合計	385	207
営業外費用		
支払利息	703	621
為替差損	15	154
その他	178	142
営業外費用合計	897	918
経常利益	1,008	1,528
特別利益		
前期損益修正益	1,386	113
その他	164	81
特別利益合計	1,550	194
特別損失		
前期損益修正損	350	248
貸倒引当金繰入額	95	—
その他	188	103
特別損失合計	634	352
税引前四半期純利益	1,924	1,370
法人税、住民税及び事業税	43	73
法人税等調整額	127	△ 68
法人税等合計	171	5
四半期純利益	1,753	1,365

5. 四半期個別受注の概況

(1) 個別受注実績

	受 注 高	
	百万円	%
23年3月期第3四半期累計期間	112,297	△ 6.9
22年3月期第3四半期累計期間	120,564	△ 13.0

(注) パーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

		前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		比 較 増 減		
		金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	増減率(%)	
建 設 業	土 木	国内官公庁	22,747	18.9	10,145	9.0	△ 12,601	△ 55.4
		国内民間	25,215	20.9	18,334	16.3	△ 6,880	△ 27.3
		海外	1,757	1.4	1,854	1.7	96	5.5
		計	49,719	41.2	30,334	27.0	△ 19,385	△ 39.0
	建 築	国内官公庁	4,070	3.4	3,477	3.1	△ 592	△ 14.6
		国内民間	66,774	55.4	78,466	69.9	11,692	17.5
		海外	—	—	18	0.0	18	—
		計	70,845	58.8	81,962	73.0	11,117	15.7
合 計	国内官公庁	26,817	22.3	13,623	12.1	△ 13,194	△ 49.2	
	国内民間	91,989	76.3	96,801	86.2	4,811	5.2	
	海外	1,757	1.4	1,872	1.7	115	6.6	
	計	120,564	100	112,297	100	△ 8,267	△ 6.9	

(2) 個別受注予想

	通 期	
	百万円	%
23年3月期予想	190,000	5.1
22年3月期実績	180,729	△ 16.6

(注) パーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

(3) 個別受注実績及び個別受注予想に関する定性的情報等

当第3四半期累計期間の個別受注実績は、建築は医療福祉施設や商業施設等を中心に国内民間工事が増加し、前年同四半期を上回る結果となりました。しかしながら、土木は国内官庁工事では治山治水や道路、国内民間工事では電力・エネルギー関連施設等で減少したため、土木・建築合計では、前年同四半期に比べ82億円(6.9%)減少し、1,122億円となりました。

なお、通期の個別受注予想につきましては、平成22年5月14日の決算発表時の受注予想から変更はありません。